

# 履修規定

## 心理社会学科

I 総説	56	2) 選択A・B	
A. 科目区分および卒業要件単位数	56	3) OCA	
1) 科目区分		4) コース制度	
2) 卒業要件単位数		D. 総合教養科目	62
B. 履修科目登録上限単位数	56	教養演習	
1) 履修科目登録上限単位数制度		E. 学部共通科目	67
2) 履修科目登録上限単位数		F. 一般共通科目	70
C. コース認定制度	57	1) スポーツ・ウエルネス教育科目	
D. 2年次から3年次への進級基準	57	2) IT科目	
		3) WRD	
		4) キャリアデザイン科目	
II 科目区分別履修方法	58	III 心理社会学科授業科目一覧	72
A. 外国語科目	58	IV 科目番号	76
1) 必修		V 卒業要件単位に算入されない	
2) TOEIC IPテスト		授業科目	78
3) 未修得科目の再履修			
B. 基礎科目	59		
1) 必修			
2) 選択			
C. 専門科目	60		
1) 必修			

# I 総説

## A 科目区分および卒業要件単位数

### 1 科目区分

授業科目は、**外国語科目**、**基礎科目**、**専門科目**、**総合教養科目**、**学部共通科目**、**一般共通科目**の6つの科目区分から構成されている。

### 2 卒業要件単位数

卒業要件単位数は**126単位**であり、**第1表**に示す規定の単位数を修得しなければならない。

第1表 心理社会学科 卒業要件科目および単位数

科目区分		規定単位数	
外国語科目	必修	14	14
基礎科目	必修	8	28
	選択A	12	
	選択B	4	
	選択C	4	
専門科目	必修	16	62
	選択A (注1)	32	
	選択B	14	
総合教養科目		12	12
学部共通科目		6	(注2) 6
一般共通科目		4	4
合計		126	

(注1) **学部共通科目**の卒業要件単位6単位は、**学部共通科目**の中に配置されている授業科目のほか、**基礎科目**の選択A、選択B及び選択C並びに**専門科目**の選択A及び選択Bに配置されている授業科目の中から、それぞれ卒業要件単位数を超えて修得した単位によっても充当することができる。

(注2) **一般共通科目**の卒業要件単位4単位は、**一般共通科目**の中に配置されている授業科目のほか、**総合教養科目**に配置されている授業科目の中から、卒業要件単位数を超えて修得した単位によっても充当することができる。

(注3) 留学先大学において修得した単位を本学の外国語科目の単位として認定した場合、外国語科目の卒業要件単位数を超過して修得した単位は、学部共通科目の卒業要件単位として充当することができる。

## B 履修科目登録上限単位数

### 1 履修科目登録上限単位数制度

授業時間外の学修時間を十分に確保し、各科目の学修効果を促進することを目的として、履修科目が過多にならないよう1年間に履修できる単位数の上限を定めている。1年次から履修計画を立て、確実に単位を修得していくことが大切である。

### 2 履修科目登録上限単位数

- ① 各年次毎の履修科目登録上限単位数は**47単位**とする。
- ※ 2年次は、後期に「English II : Presentation and Discussion」を履修するため、教務部で事前に仮置きで1単位分について履修登録してある。
- ② 「資格英語」の2単位は履修科目登録上限単位数（47単位）に含まれない。
- ③ 1年次後期より、学部を設置する審査委員会において、成績資料を個別に審査（審査基準：前年度修得単位数40単位以上かつGPA値2.8以上（1年次生は前期GPA2.8以上））し、履修科目登録上限単位数を52単位まで認めることがある。希望者は所定の期間（別途、掲示にて告知）に教務部に申請すること。

## C コース認定制度

本学部学生は、2年次進級時に、心理、社会、政策、戦略のいずれの領域を自分の今後の専門領域とするかを申告する。この専門領域のことを本学部では「コース」と呼ぶ。

コース認定制度は、科目区分の「専門科目」の「選択A」及び「選択B」の中から、コース認定要件に示される所定の単位数を修得した場合に、卒業時に当該コースの修了を認定する制度である。各コースの認定要件は第2表のとおりである。また、認定要件を満たしていれば、申告によらず複数のコースについて認定する。

このコース認定制度は、学生諸君が自らの学習目標を明確に意識することにより、自己の学習意欲向上を図ることを目的としたものである。また、コース毎に収容定員が設定されるものではない。なお、ゼミナールへの配属は、申告したコースの別に関わらずに、学科別に選考を通じて行われる。

コース申告の手続きなどについては、1年次終了時までにはガイダンスを行う。

第2表 コース認定要件

コース	認定要件
心理コース	専門科目選択科目の心理系科目から20単位以上
社会コース	専門科目選択科目の社会系科目から20単位以上
政策コース	専門科目選択科目の政策系科目から20単位以上
戦略コース	専門科目選択科目の戦略系科目から20単位以上

## D 2年次から3年次への進級基準

2年次から3年次へ進級するには、2年次終了までに第3表に示す所定の単位を修得していなければならない。

第3表 進級基準

		授業科目	単位数
1年次必修科目	外国語科目	English I: Skills for Learning [a]	1
		English I: Skills for Learning [b]	1
		English I: Social Interaction [a]	1
		English I: Social Interaction [b]	1
		English I: Academic Interaction [a]	1
		English I: Academic Interaction [b]	1
		English I: Reading and Writing [a]	1
		English I: Reading and Writing [b]	1
	基礎科目	イノベーション概論	2
		科学技術と社会	2
		情報リテラシー	2
データ分析入門		2	
2年次必修科目	専門科目	基礎ゼミナール（心理）	いずれか 2
		基礎ゼミナール（社会）	
上記必修科目以外の1・2年次配当科目（卒業要件外単位を除く）			15
合計			33

## II 科目区分別履修方法

### A 外国語科目

社会イノベーション学部では、英語が必修科目となっており、聞く、話す、読む、書くの4つのスキルをバランスよく身につけることができるようなカリキュラムが組まれている。卒業要件単位数は第4表のとおりである。

第4表 外国語科目規定単位数

区分	授 業 科 目	配当年次	規定単位数	主な技能
必修	English I: Skills for Learning [a]	1	1	基本技能
	English I: Skills for Learning [b]		1	
	English I: Social Interaction [a]		1	リスニング スピーキング
	English I: Social Interaction [b]		1	
	English I: Academic Interaction [a]		1	
	English I: Academic Interaction [b]		1	
	English I: Reading and Writing [a]		1	リーディング ライティング
	English I: Reading and Writing [b]		1	
	English II: Public Speaking	2	1	リスニング スピーキング
	English II: Presentation and Discussion		1	
	English II: Academic Reading and Writing [a]		1	リーディング ライティング
	English II: Academic Reading and Writing [b]		1	
	English II: Business Reading and Writing [a]		1	
	English II: Business Reading and Writing [b]		1	
計			14	

※ クラス分けについて

2年次必修の英語は、入学時に決められたクラスとは異なる英語専用のクラス [(1) ~ (14)] で受講する。教務部で事前登録を行うので、各自のクラスを、Campus Square for Webの履修状況メニューで確認すること。

#### 1 必 修

1年次には、「English I: Skills for Learning [a]/[b]」で高校までに学習した知識とスキルの総復習に加え、レファレンススキルなどの大学レベルでの英語学習の基礎となるスキルを身につける。「English I: Reading and Writing [a]/[b]」では、読み書きの基礎を固める。主にネイティブ・スピーカーの講師による「English I: Social Interaction [a]/[b]」と「English I: Academic Interaction [a]/[b]」では、それぞれ日常生活とアカデミックな場面におけるコミュニケーション能力を身につける。

2年次の「English II: Business Reading and Writing [a]/[b]」と「English II: Academic Reading and Writing [a]/[b]」では、それぞれビジネスとアカデミックな場面に特化して読み書きのスキルを磨く。前期の「English II: Public Speaking」では、英語によるディスカッションやプレゼンテーション能力の基礎を学び、後期の「English II: Presentation and Discussion」では、前期に学んだスキルを繰り返しトレーニングし、場面に応じた英語コミュニケーション能力を身につける。

なお、外国語科目のうち1年次必修科目の単位は、3年次への進級基準にも含まれており、3年次進級のためには同授業科目の単位を修得している必要がある。

2年次後期の「English II: Presentation and Discussion」は、前期の「English II: Public Speaking」が合格又は認定の場合に限り履修可能である。Campus Square for Webの履修状況メニュー上には事前にダミーの科目が登録されているが、前期の成績確定後に、教務部が登録変更を行う。また、「English II: Business Reading and Writing [b]」は、履修年度（単位を取得しようとする年度）のTOEICスコアが450点に満たない場合は授業内の成果にかかわらず不可とする。

※2021年度をもって「English I: Social Interaction」及び「English I: Academic Interaction」が廃講となり、2022年度に「English I: Social Interaction [a]/[b]」及び「English I: Academic Interaction [a]/[b]」が新設された。旧科目の単位を修得している場合、新科目の単位を修得済みであるとみなされる。

2 TOEIC IP  
テスト

本学部学生には、1年次から3年次までの各年次において、学内で実施するTOEIC IPテスト、または学外で実施されるTOEIC Listening & Reading Testを年1回受験することを義務づけている。これは学生諸君が自らの英語力を継続的にチェックすることにより、学習意欲の向上を図り、さらに社会に対して自らの英語力を広くアピールすることを目的として行われる。また、外国語科目（英語）必修科目の授業科目である「English II : Business Reading and Writing [b]」については、TOEICテストにおいて一定の水準に到達することを単位修得の条件としており、ひいては、本学部卒業の要件ともなっている。

TOEIC IPテストには、本学部で実施されるものの他に、学内のキャリアセンターなどで実施されるものもある。本学部で実施されるTOEIC IPテスト以外により獲得したスコアを用いる場合には、別途掲示する所定期日までに、それらのテストのスコアカードを3号館4階社会イノベーション学部研究事務室に持参して申告する必要がある。本学部で実施されるTOEIC IPテストの受験手続きに関する情報は、別途掲示して通知する。また、TOEIC IPテスト等の受験手続きに関する問い合わせは、3号館4階社会イノベーション学部研究事務室にて受け付ける。

3 未修得科目の  
再履修

## ① 1年次の必修科目

再履修者対象の授業科目（1年次配当）を履修すること。

## ② 2年次の必修科目

再履修者対象の授業科目（2年次配当）を履修すること。

## B 基礎科目

基礎科目は、必修、選択A、選択B、選択Cの4区分から構成されている。それぞれの科目区分の卒業要件単位数は第5表のとおりである。

本年度休講科目は「社会イノベーション学部 2022年度休講科目一覧」を参照すること。

第5表 基礎科目規定単位数

科目区分		規定単位数
基礎科目	必修	8
	選択A	12
	選択B	4
	選択C	4
計		28

## 1 必修

基礎科目必修の授業科目は、第6表のとおりである。これらの授業科目は、イノベーションについてどのように考えるかということを理解すると同時に、必要な情報をどのように獲得し、加工するかという基礎的分析能力を身につけることを目的とする。なお、基礎科目の必修科目の単位は、3年次への進級基準にも含まれており、3年次進級のためには必ず同授業科目の単位を修得している必要がある。

第6表 基礎科目必修科目

授業科目	配当年次	単位数
イノベーション概論	1	2
科学技術と社会	1	2
情報リテラシー	1	2
データ分析入門	1	2

## 《履修上の注意》

① 基礎科目必修科目が不合格の場合は、翌年度に再履修すること。

② 上記科目を再履修する場合は、特別な手続きが必要である。登録方法については、

【[授業に関すること](#)】Ⅳ特別な履修登録手続きを必要とする授業科目】を参照すること。

## 2 選択

基礎科目における選択科目は、第7表に示されており、選択A、選択B、選択Cの3つに分けられている。選択Aには、4年間のイノベーションに関する学修の基礎となるような授業科目が、選択Bには、分析方法に関する授業科目が配置されている。また、選択Cには、イノベーションを推進するに当たり、その社会的な影響面をより広い視野から検討し、イノベーションのもたらす便益とその問題点を深く考察する授業科目が配置されている。

2 選 択  
(つづき)

第7表 基礎科目選択科目

区 分	授 業 科 目	配当年次	単 位	備 考
選択A	心理学*	1～2	4	この区分内の授業科目から、12単位以上を選択すること。 なお、*印のついた科目から8単位以上を必ず選択すること。
	社会学*	1～2	4	
	社会心理学*	1～2	4	
	統計学*	1～2	4	
	経済学	1～2	4	
	国際関係学	1～2	4	
	政策学	1～2	2	
	行政学	1～2	2	
選択B	経営学	1～2	4	この区分内の授業科目から、4単位以上を選択すること。
	社会調査法	2～4	4	
	心理実験法	2～4	4	
	メッセージ分析法	2～4	4	
	市場調査法	2～4	4	
選択C	心理研究法	2～4	4	この区分内の授業科目から、4単位以上を選択すること。
	エコロジー論	1～4	4	
	生命倫理論	1～4	4	
	比較文化論	1～4	4	
	生命の科学	1～4	4	
	文明と社会	1～4	4	
	家族と社会の変動	1～4	4	
地域と文化	1～4	4		

《履修上の注意》

- ① 「社会調査法」、「心理実験法」、「市場調査法」及び「心理研究法」は、機材の関係上、履修者数について制限が行われる。登録方法については、【授業に関すること】Ⅳ特別な履修登録手続きを必要とする授業科目】を参照すること。
- ② 選択A、選択B、選択Cに属する授業科目の中から、卒業要件単位数を超えて修得した単位は、学部共通科目の卒業要件単位として充当することができる。

C 専門科目

専門科目は、必修、選択A、選択Bの3区分から構成されている。それぞれの科目区分の卒業要件単位数は第8表のとおりである。

本年度休講科目は「社会イノベーション学部 2022年度休講科目一覧」を参照すること。

第8表 専門科目規定単位数

科 目 区 分		規定単位数
専 門 科 目	必 修	16
	選 択 A	32
	選 択 B	14
計		62

1 必 修

専門科目の授業科目は、第9表のとおりである。

第9表 専門科目必修科目

授 業 科 目	配当年次	単 位
基礎ゼミナール（心理）	2	2
基礎ゼミナール（社会）	2	2
ゼミナールⅠ	3	4
ゼミナールⅡ	4	4
卒 業 研 究	4	4

《履修上の注意》

- ① 「ゼミナールⅠ」、「ゼミナールⅡ」及び「卒業研究」は、原則として同一担当教員の指導の下で履修しなければならない。
- ② 「ゼミナールⅠ」が不合格の者は、「ゼミナールⅡ」及び「卒業研究」を履修することができない。
- ③ 卒業研究の提出要領については、【授業に関すること】Ⅳ卒業研究を参照すること。

2 選択A・B

専門科目における選択科目は、選択Aと選択Bに分けられる。

選択Aは、新製品やブランドを受け入れる消費者心理、イノベーションを生み出す個人の創造力とコミュニケーションの可能性を探る心理系科目、イノベーションと社会の関わり、宗教・文化・環境とイノベーションの関係など、社会的な問題を扱う社会系科目及び学科共通科目に分かれる。

選択Bは、科学技術政策や産業政策をはじめとするイノベーション促進のための国の政策や法制度のあり方を考える政策系科目、研究開発戦略、新ビジネスモデルの構築、新製品開発活動など企業戦略のあり方に迫る戦略系科目及び学科共通科目に分かれる。

選択A及び選択Bの授業科目は、第10表のとおりである。

第10表 専門科目選択科目

区分	授業科目	配当年次	単位	授業科目	配当年次	単位	
選択A	心理系科目	イノベーション心理論	2~4	4	組織心理学	3・4	2
		認知心理学Ⅰ	2~4	2	意思決定論	3・4	2
		認知心理学Ⅱ	2~4	2	経済心理学	3・4	2
		パーソナリティ心理学	2~4	2	ワークプレイス論	3・4	2
		メディア心理学	2~4	4	対人コミュニケーション論	3・4	4
		異文化間心理学	2~4	2	認知言語学	3・4	4
	社会系科目				ヒューマンインターフェイス論	3・4	4
					産業カウンセリング	3・4	4
		イノベーション社会論	2~4	4	宗教社会論Ⅰ	3・4	2
		社会システム論	2~4	4	宗教社会論Ⅱ	3・4	2
		日本社会文化論Ⅰ	2~4	2	社会人類学	3・4	2
		日本社会文化論Ⅱ	2~4	2	NGO・NPO論	3・4	2
		アジア社会文化論	2~4	4	社会調査専門演習	3・4	4
		アメリカ社会文化論Ⅰ	2~4	2			
		アメリカ社会文化論Ⅱ	2~4	2			
		現代国際社会学	2~4	4			
		異文化間コミュニケーション論Ⅰ	2~4	2			
		異文化間コミュニケーション論Ⅱ	2~4	2			
		環境社会論Ⅰ	2~4	2			
	環境社会論Ⅱ	2~4	2				
現代社会福祉論	2~4	2					
ケアの社会学	2~4	2					
科目共通	OCA	2~4	2	心理社会学特殊講義	3・4	2	
	社会イノベーション特殊演習	2~4	2				
選択B	政策系科目	イノベーション政策論	2~4	4	イノベーション経済論	3・4	4
		経済政策	2~4	2	公共政策論	3・4	2
		公共経済学	2~4	2	知的財産法	3・4	2
		科学技術論	2~4	2	リテールファイナンス論	3・4	2
		金融システム論	2~4	2	金融イノベーション論Ⅱ	3・4	2
		金融イノベーション論Ⅰ	2~4	2	比較イノベーション論	3・4	2
		日本経済論	2~4	2	グローバルガバナンス論	3・4	2
		日本金融論	2~4	2	国際機構論	3・4	4
		国際協力・開発イノベーション論	2~4	4	不動産開発論	3・4	2
		開発政策論	2~4	2	都市開発論	3・4	2
		開発支援論	2~4	2			
		国際法	2~4	4			
		地域政策論	2~4	4			
	戦略系科目	イノベーション戦略論	2~4	4	人的資源論	3・4	4
		戦略論	2~4	2	新商品開発論	3・4	2
		組織論	2~4	2	ベンチャービジネス論	3・4	2
		マーケティング論	2~4	2	研究開発管理論	3・4	2
		現代企業論	2~4	4	トップマネジメント論	3・4	2
		企業家史	2~4	4	ロジスティクス論	3・4	2
		組織イノベーション論	2~4	4	企業評価論	3・4	4
科目共通	グローバル・イノベーション・マネジメント論	2~4	4				
	消費行動論	2~4	2				
				政策イノベーション特殊講義Ⅰ	3・4	2	
				政策イノベーション特殊講義Ⅱ	3・4	2	

履修規定

心理社会学

## 2 選択 A・B (つづき)

### 《履修上の注意》

- ① 選択A及び選択Bに属する授業科目の中から、卒業要件単位数を超えて修得した単位は、**学部共通科目**に充当することができる。
- ② 以下の科目は、特別な履修登録手続きが必要である。登録方法については、【**授業に関すること**】Ⅳ**特別な履修登録手続きを必要とする授業科目**】を参照すること。

社会調査専門演習	日本経済論	産業カウンセリング
----------	-------	-----------

- ③ 2019年度をもって「環境社会論」が廃講となり、2020年度に「環境社会論Ⅰ」「環境社会論Ⅱ」が新設された。「環境社会論」の単位を修得している場合、「環境社会論Ⅰ」を履修することはできない。
- ④ 2020年度より「政策イノベーション特殊講義」は「政策イノベーション特殊講義Ⅰ」に科目名称が変更された。旧科目の単位を修得済みの場合、新科目を履修することができない。
- ⑤ 2020年度に「政策イノベーション特殊講義Ⅱ」が新設された。
- ⑥ 2022年度に以下のように授業科目が変更された。旧授業科目の単位を修得している場合、新授業科目を履修することはできない。

新 授 業 科 目	旧 授 業 科 目
認知心理学Ⅰ	認知心理学
認知心理学Ⅱ	
日本社会文化論Ⅰ	日本社会文化論
日本社会文化論Ⅱ	
アメリカ社会文化論Ⅰ	アメリカ社会文化論
アメリカ社会文化論Ⅱ	
現代社会福祉論	生活福祉論
ケアの社会学	
宗教社会論Ⅰ	宗教社会論
宗教社会論Ⅱ	

## 3 OCA

選択A学科共通科目で2年次より開講される「OCA」とは、オフ・キャンパス・アクティビティの略語であり、企業や政府、地方公共団体、NPO / NGOなどの諸組織・諸機関において、就業体験（インターンシップ）を積むことにより、実社会への理解、社会において必要な能力・スキルへの理解を深めるとともに、将来のキャリア形成に役立つ実践的な経験を積むことを目的として置かれている科目である。

※ 登録方法については、【**授業に関すること**】Ⅳ**特別な履修登録手続きを必要とする授業科目**】を参照すること。

※「OCA事前講義」及び「OCA」は、年度をかえて同一名称の授業科目を反復履修できる。**ただし、反復履修して修得した単位は卒業要件単位として認めない。**

## 4 コース制度

専門科目の選択A及び選択Bの中から所定の単位を修得した場合、卒業時にコース修了の認定が与えられる。詳細については、【**履修規定**】Ⅰ**総説**】**C**コース認定制度】及び【**履修モデル**】を参照すること。

## D 総合教養科目

高度に科学が細分化された21世紀に生きる人間にとって、その専門能力の養成は必要不可欠であるが、その専門能力も洗練された教養人としての健全な懐疑の精神と幅広い視野があってこそ正しい方向に発揮される。この認識の下に、多様な分野の授業科目が開設されているのが**総合教養科目**である。この科目区分の授業科目は**第11表**のとおりである。卒業要件単位数は**12単位**である。

なお、総合教養科目には全学共通教育カリキュラムで用意された科目が含まれている。全学共通教育の理念等は、【**全学共通教育科目**】の項に記載されている。

本年度休講科目は「社会イノベーション学部 2022年度休講科目一覧」を参照すること。

第11表 総合教養科目

分野	授業科目	配当年次	単位	分野	授業科目	配当年次	単位		
	短期学外演習	1~4	2	基幹	法学（含む日本国憲法）a	1~4	2		
	教養演習	1~4	4		法学（含む日本国憲法）b	1~4	2		
	応用英語研究	3・4	4		社会構造論Ⅰa	1~4	2		
	言語コミュニケーション演習	3・4	4		社会構造論Ⅰb	1~4	2		
全学共通教育科目 教養科目群	総合科目	総合講座Ⅰ	1~4	2	社会構造論系列 展開	社会構造論Ⅱa	1~4	2	
		総合講座Ⅱ	1~4	2		社会構造論Ⅱb	1~4	2	
		総合講座Ⅲ	1~4	2		社会構造論Ⅲa	1~4	2	
		総合講座Ⅳ	1~4	2		社会構造論Ⅲb	1~4	2	
		総合講座Ⅴ	1~4	2		社会構造論Ⅳa	1~4	2	
		総合講座Ⅵ	1~4	2		社会構造論Ⅳb	1~4	2	
		特別講座Ⅰ	1~4	2		社会構造論Ⅴa	1~4	2	
		特別講座Ⅱ	1~4	2		社会構造論Ⅴb	1~4	2	
		成城学	成城学園を知る	1~4		2	社会構造論Ⅵa	1~4	2
			成城学Ⅰ	1~4		2	社会構造論Ⅵb	1~4	2
成城学Ⅱ	1~4		2	社会構造論演習 a	1~4	2			
成城学Ⅲ	1~4		2	社会構造論演習 b	1~4	2			
成城学Ⅳ	1~4		2	哲学入門 a	1~4	2			
全学共通教育科目 教養科目群（系列科目）	基幹	社会学入門 a	1~4	2	思想・人間論系列 展開	哲学入門 b	1~4	2	
		社会学入門 b	1~4	2		宗教学入門 a	1~4	2	
		メディア論入門 a	1~4	2		宗教学入門 b	1~4	2	
		メディア論入門 b	1~4	2		倫理学入門 a	1~4	2	
	現代社会論系列 展開	現代社会論Ⅰa	1~4	2		倫理学入門 b	1~4	2	
		現代社会論Ⅰb	1~4	2		西洋思想入門 a	1~4	2	
		現代社会論Ⅱa	1~4	2		西洋思想入門 b	1~4	2	
		現代社会論Ⅱb	1~4	2		東洋思想入門 a	1~4	2	
		現代社会論Ⅲa	1~4	2		東洋思想入門 b	1~4	2	
		現代社会論Ⅲb	1~4	2		日本思想入門 a	1~4	2	
		現代社会論Ⅳa	1~4	2		日本思想入門 b	1~4	2	
		現代社会論Ⅳb	1~4	2		思想・人間論Ⅰa	1~4	2	
		現代社会論Ⅴa	1~4	2		思想・人間論Ⅰb	1~4	2	
		現代社会論Ⅴb	1~4	2		思想・人間論Ⅱa	1~4	2	
		現代社会論Ⅵa	1~4	2		思想・人間論Ⅱb	1~4	2	
		現代社会論Ⅵb	1~4	2		思想・人間論Ⅲa	1~4	2	
		現代社会論Ⅶa	1~4	2		思想・人間論Ⅲb	1~4	2	
		現代社会論Ⅶb	1~4	2		思想・人間論演習 a	1~4	2	
		現代社会論Ⅷa	1~4	2		思想・人間論演習 b	1~4	2	
		現代社会論Ⅷb	1~4	2		表現文化論系列 展開	文学入門 a	1~4	2
現代社会論Ⅷa	1~4	2	文学入門 b	1~4	2				
現代社会論Ⅷb	1~4	2	言語学入門 a	1~4	2				
現代社会論演習 a	1~4	2	言語学入門 b	1~4	2				
現代社会論演習 b	1~4	2	音楽入門 a	1~4	2				
社会構造論系列 基幹	国際関係論入門 a	1~4	2	音楽入門 b	1~4		2		
	国際関係論入門 b	1~4	2	表象文化論入門 a	1~4		2		
	経済学入門 a	1~4	2	表象文化論入門 b	1~4		2		
	経済学入門 b	1~4	2	表現文化論Ⅰa	1~4		2		
	政治学入門 a	1~4	2	表現文化論Ⅰb	1~4		2		
	政治学入門 b	1~4	2	表現文化論Ⅱa	1~4		2		
	情報社会論入門 a	1~4	2	表現文化論Ⅱb	1~4		2		
	情報社会論入門 b	1~4	2						

履修規定

心理社会学科

第11表 総合教養科目 (つづき)

分野	授業科目	配当年次	単位	分野	授業科目	配当年次	単位
表現文化論系列 展開	表現文化論Ⅲa	1~4	2	地域空間論系列 展開	地域空間論Ⅵa	1~4	2
	表現文化論Ⅲb	1~4	2		地域空間論Ⅵb	1~4	2
	表現文化論Ⅳa	1~4	2		地域空間論Ⅶa	1~4	2
	表現文化論Ⅳb	1~4	2		地域空間論Ⅶb	1~4	2
	表現文化論Ⅴa	1~4	2		地域空間論Ⅷa	1~4	2
	表現文化論Ⅴb	1~4	2		地域空間論Ⅷb	1~4	2
	表現文化論Ⅵa	1~4	2		地域空間論演習 a	1~4	2
	表現文化論Ⅵb	1~4	2		地域空間論演習 b	1~4	2
	表現文化論演習 a	1~4	2		数学の世界 a	1~4	2
	表現文化論演習 b	1~4	2		数学の世界 b	1~4	2
歴史文化論系列 展開	歴史学入門 a	1~4	2	数理・自然科学系列 展開	物理の世界 a	1~4	2
	歴史学入門 b	1~4	2		物理の世界 b	1~4	2
	日本近現代史 a	1~4	2		化学の世界 a	1~4	2
	日本近現代史 b	1~4	2		化学の世界 b	1~4	2
	ヨーロッパ近現代史 a	1~4	2		生命科学の世界 a	1~4	2
	ヨーロッパ近現代史 b	1~4	2		生命科学の世界 b	1~4	2
	アジア近現代史 a	1~4	2		科学史 a	1~4	2
	アジア近現代史 b	1~4	2		科学史 b	1~4	2
	アメリカ近現代史 a	1~4	2		自然科学Ⅰa	1~4	2
	アメリカ近現代史 b	1~4	2		自然科学Ⅰb	1~4	2
歴史文化論系列 展開	歴史文化論Ⅰa	1~4	2	自然科学系列 展開	自然科学Ⅱa	1~4	2
	歴史文化論Ⅰb	1~4	2		自然科学Ⅱb	1~4	2
	歴史文化論Ⅱa	1~4	2		自然科学Ⅲa	1~4	2
	歴史文化論Ⅱb	1~4	2		自然科学Ⅲb	1~4	2
	歴史文化論Ⅲa	1~4	2		自然科学Ⅳa	1~4	2
	歴史文化論Ⅲb	1~4	2		自然科学Ⅳb	1~4	2
	歴史文化論Ⅳa	1~4	2		自然科学Ⅴa	1~4	2
	歴史文化論Ⅳb	1~4	2		自然科学Ⅴb	1~4	2
	歴史文化論Ⅴa	1~4	2		数理・自然科学演習 a	1~4	2
	歴史文化論Ⅴb	1~4	2		数理・自然科学演習 b	1~4	2
歴史文化論系列 展開	歴史文化論演習 a	1~4	2	基幹	こころと身体 a	1~4	2
	歴史文化論演習 b	1~4	2		こころと身体 b	1~4	2
	文化人類学入門 a	1~4	2		身体と運動・スポーツ a	1~4	2
	文化人類学入門 b	1~4	2		身体と運動・スポーツ b	1~4	2
地域空間論系列 展開	空間システム論入門 a	1~4	2	心身論系列 展開	心身論Ⅰa	1~4	2
	空間システム論入門 b	1~4	2		心身論Ⅰb	1~4	2
	地域空間論Ⅰa	1~4	2		心身論Ⅱa	1~4	2
	地域空間論Ⅰb	1~4	2		心身論Ⅱb	1~4	2
	地域空間論Ⅱa	1~4	2		心身論Ⅲa	1~4	2
	地域空間論Ⅱb	1~4	2		心身論Ⅲb	1~4	2
	地域空間論Ⅲa	1~4	2		心身論Ⅳa	1~4	2
	地域空間論Ⅲb	1~4	2		心身論Ⅳb	1~4	2
	地域空間論Ⅳa	1~4	2		心身論Ⅴa	1~4	2
	地域空間論Ⅳb	1~4	2		心身論Ⅴb	1~4	2
地域空間論系列 展開	地域空間論Ⅴa	1~4	2	心身論演習 a	1~4	2	
	地域空間論Ⅴb	1~4	2	心身論演習 b	1~4	2	

履修規定

心理社会学科

第11表 総合教養科目 (つづき)

区分	授業科目	配当年次	単位	区分	授業科目	配当年次	単位		
全学共通教育科目 国際交流科目群	英語等による 日本事情関係科目	Japan Studies I A	1~4	2	全学共通教育科目 国際交流科目群	英語等による特定の テーマを扱った科目	Japan Studies VII A	1~4	2
		Japan Studies I B	1~4	2			Japan Studies VII B	1~4	2
		Japan Studies II A	1~4	2			Japan Studies VIII A	1~4	2
		Japan Studies II B	1~4	2			Japan Studies VIII B	1~4	2
		Japan Studies III A	1~4	2			Special Topics I A	1~4	2
		Japan Studies III B	1~4	2			Special Topics I B	1~4	2
		Japan Studies IV A	1~4	2			Special Topics II A	1~4	2
		Japan Studies IV B	1~4	2			Special Topics II B	1~4	2
		Japan Studies V A	1~4	2			Special Topics III A	1~4	2
		Japan Studies V B	1~4	2			Special Topics III B	1~4	2
		Japan Studies VI A	1~4	2			Special Topics IV A	1~4	2
		Japan Studies VI B	1~4	2			Special Topics IV B	1~4	2

【2022年度以降入学者用】

区分	授業科目	配当年次	単位
全学共通教育科目 データサイエンス科目群	リテラシー科目	データサイエンス概論	1~4 2
		データサイエンス基礎	1~4 2
	応用基礎科目	データアナリティクス基礎	2~4 2
		機械学習基礎	2~4 2
	アドバンスド科目	データサイエンス・アドバンスド・プログラム	2~4 2
		データサイエンス・ワークフロー・プログラム	2~4 2
		データサイエンス特殊講義Ⅰ	2~4 2
		データサイエンス特殊講義Ⅱ	2~4 2
		データサイエンス特殊講義Ⅲ	2~4 2
		データサイエンス特殊講義Ⅳ	2~4 2
	選択科目	データアナリティクス応用	2~4 2
		機械学習応用	2~4 2
		数理科学基礎 a	1~4 2
		数理科学基礎 b	1~4 2
		数理科学応用 a	1~4 2
		数理科学応用 b	1~4 2

【2021年度以前入学者用】

区分	授業科目	配当年次	単位
全学共通教育科目 データサイエンス科目群	基礎科目	データサイエンス概論	1~4 2
		データサイエンス基礎	1~4 2
		データアナリティクス基礎	2~4 2
		データアナリティクス応用	2~4 2
	発展科目	機械学習基礎	2~4 2
		データサイエンス・アドバンスド・プログラム	2~4 2
	選択科目	数理科学基礎 a	1~4 2
		数理科学基礎 b	1~4 2
		数理科学応用 a	1~4 2
		数理科学応用 b	1~4 2

《履修上の注意》

- ① 総合教養科目に属する授業科目の中から、卒業要件単位数を超えて修得した単位は、一般共通科目に充当することができる。
- ② 全学共通教育科目の中には特別な履修登録手続きが必要な授業科目があるので、【授業に関すること】Ⅳ 特別な履修登録手続きを必要とする授業科目】を必ず参照すること。
- ③ 「短期学外演習〈自然〉」は、反復して履修することができる。ただし、卒業要件単位数に算入することができるのは2単位までである。
- ④ 世田谷6大学コンソーシアム連携授業科目である「総合講座Ⅴ」及び「総合講座Ⅵ」は、年度をかえて同一名称の授業科目を反復履修できる。ただし、反復履修して修得した単位は卒業要件単位数として認めない。

履修規定

心理社会学科

- ⑤ 2021・2022年度開講の「特別講座Ⅱ」を修得した場合のみ、成績評価は他の科目と異なり、合格であれば「合」（英文成績証明書は「P」）と表示される。
- ⑥ 2021年度をもって、「数理科学Ⅰa・b」、「数理科学Ⅱa・b」は廃講となった。修得済みの単位は総合教養科目の単位として認められる。
- ⑦ 2022年度に以下のように授業科目の名称変更がされた。旧授業科目の単位を修得している場合、新授業科目を履修することはできない。

新 授 業 科 目	旧 授 業 科 目
データサイエンス基礎	データサイエンス入門Ⅰ
データアナリティクス基礎	データサイエンス入門Ⅱ
データアナリティクス応用	データサイエンス応用
機械学習基礎	データサイエンス・スキルアップ・プログラム

- ⑧ 「データアナリティクス基礎」の履修に際しては、以下の条件を満たしていることが望ましい。
  - ・ 「データサイエンス概論」、「データサイエンス基礎」を修得済みであること。
- ⑨ 「機械学習基礎」の履修に際しては、以下の条件を満たしていることが望ましい。
  - ・ 「データサイエンス概論」、「データサイエンス基礎」を修得済みであること。
  - ・ 「データアナリティクス基礎」を修得済みであるか、同時履修していること。
- ⑩ 「データサイエンス・アドバンスド・プログラム」、「データサイエンス・ワークフロー・プログラム」の履修に際しては、以下の条件を満たしていることが望ましい。
  - ・ 「データサイエンス概論」、「データサイエンス基礎」を修得済みであること。
  - ・ 「データアナリティクス基礎」、「機械学習基礎」を修得済みであるか、同時履修していること。
- ⑪ 2022年度に「数理科学基礎a・b」、「数理科学応用a・b」が新設された。

#### 教 養 演 習

総合教養科目の1つとして少人数のゼミナール形式の授業として開講されるのが「教養演習」である。この授業科目は1～4年次までに開かれているが、主な対象として1年次生を設定している。クラスサイズは原則20人以下とし、少人数教育の利点を活かした教員と学生間、さらに学生相互間での議論を重視した授業を行う。学生一人ひとりの個性を育みながら、テーマに沿って学生の知的関心を広め、さらに深めることをねらいとしている。あわせて、議論とレポートの作成を通して、論理的な思考と日本語表現力を育成する。

**「教養演習」は反復・重複して履修することができるが、卒業要件単位に算入することができるのは4単位までである。**

なお、履修に際しては特別な手続きが必要である。登録方法については、【[授業に関すること](#)】  
 Ⅳ特別な履修登録手続きを必要とする授業科目】を参照すること。

学部共通科目には、英語力のブラッシュアップが図れるような各種の英語科目及び英語以外の外国語科目が配置されている。

学部共通科目の卒業要件単位数は6単位であり、授業科目は第12表のとおりである。なお、学部共通科目には全学共通教育カリキュラムで用意された科目が含まれており、全学共通教育の理念等は、【全学共通教育科目】の項に記載されている。

本年度休講科目は「社会イノベーション学部 2022年度休講科目一覧」を参照すること。

なお、学部共通科目の卒業要件6単位は、学部共通科目の中に配置されている授業科目のほか、基礎科目の選択A、選択B及び選択C並びに専門科目の選択A及び選択Bに属する授業科目の中から、それぞれ卒業要件単位数を超えて修得した単位によっても充当することができる。

第12表 学部共通科目

分野	授業科目	配当年次	単位	分野	授業科目	配当年次	単位
全学共通教育科目 リテラシー科目群	English for International Communication	2~4	2	外国語科目 (ディプロム・コース)	ディプロム・コース中級(独語) a	1~4	1
	English for Academic Settings	2~4	2		ディプロム・コース中級(独語) b	1~4	1
	English for Practical Proficiency	2~4	2		ディプロム・コース上級(独語) a	1~4	1
	Innovation Studies in English [a]	2~4	1		ディプロム・コース上級(独語) b	1~4	1
	Innovation Studies in English [b]	2~4	1		ディプロム・コース中級(仏語) a	1~4	1
	Advanced Oral Interaction in English	2~4	2		ディプロム・コース中級(仏語) b	1~4	1
	Critical Reading in English [a]	2~4	1		ディプロム・コース上級(仏語) a	1~4	1
	Critical Reading in English [b]	2~4	1		ディプロム・コース上級(仏語) b	1~4	1
	Research Writing Skills in English [a]	2~4	1		ディプロム・コース中級(スペイン語) a	1~4	1
	Research Writing Skills in English [b]	2~4	1		ディプロム・コース中級(スペイン語) b	1~4	1
	Thesis Writing Skills in English [a]	3~4	1		ディプロム・コース中級(韓国語) a	1~4	1
	Thesis Writing Skills in English [b]	3~4	1		ディプロム・コース中級(韓国語) b	1~4	1
	全学共通教育科目 外国語科目 リテラシー科目群	資格英語	2~4		2	海外短期語学研修	海外短期語学研修(英語・春季)
ビジネス英語a		1~4	1	海外短期語学研修(英語・夏季)	1~4		2
ビジネス英語b		1~4	1	海外短期語学研修(独語・春季)	*		2
独会話選択a		1~4	1	海外短期語学研修(仏語・春季)	*		2
独会話選択b		1~4	1	海外短期語学研修(中国語・夏季)	1~4		2
独語選択(初級) I a		1~4	1	海外短期語学研修(英語・夏季) [2021年度以降入学者のみ履修可]	1~4		1
独語選択(初級) I b		1~4	1	海外短期語学研修(英語・就業体験準備) [2020年度以前入学者のみ履修可]	1~4		1
独語選択(初級) II a		1~4	1	海外短期研修(マレーシア・就業体験研修) [2020年度以前入学者のみ履修可]	1~4		2
独語選択(初級) II b		1~4	1				
独語選択(中級) a		1~4	1	受け入れ留学生科目	日本語(初級) I A		交換留学生等
独語選択(中級) b		1~4	1		日本語(初級) I B	交換留学生等	2
独語選択(上級) a		1~4	1		日本語(初級) II A	交換留学生等	2
独語選択(上級) b		1~4	1		日本語(初級) II B	交換留学生等	2
仏会話選択a		1~4	1		日本語(初級) III A	交換留学生等	2
仏会話選択b		1~4	1		日本語(初級) III B	交換留学生等	2
仏語選択(初級) I a		1~4	1		日本語(初級) IV A	交換留学生等	2
仏語選択(初級) I b		1~4	1		日本語(初級) IV B	交換留学生等	2
仏語選択(初級) II a		1~4	1		日本語(中級) I A	交換留学生等	2
仏語選択(初級) II b		1~4	1		日本語(中級) I B	交換留学生等	2
仏語選択(中級) a		1~4	1		日本語(中級) II A	交換留学生等	2
仏語選択(中級) b		1~4	1		日本語(中級) II B	交換留学生等	2
仏語選択(上級) a		1~4	1		日本語(中級) III A	交換留学生等	2
仏語選択(上級) b		1~4	1		日本語(中級) III B	交換留学生等	2
スペイン語選択(初級) a		1~4	1		日本語(中級) IV A	交換留学生等	2
スペイン語選択(初級) b		1~4	1		日本語(中級) IV B	交換留学生等	2
中国語選択(初級) I a		1~4	1		日本語(上級) I A	交換留学生等	1
中国語選択(初級) I b		1~4	1		日本語(上級) I B	交換留学生等	1
中国語選択(初級) II a		1~4	1		日本語(上級) II A	交換留学生等	1
中国語選択(初級) II b		1~4	1		日本語(上級) II B	交換留学生等	1
中国語選択(中級) a		1~4	1		日本語(上級) III A	交換留学生等	2
中国語選択(中級) b		1~4	1		日本語(上級) III B	交換留学生等	2
中国語選択(上級) a		1~4	1		日本語(上級) IV A	交換留学生等	2
中国語選択(上級) b		1~4	1		日本語(上級) IV B	交換留学生等	2
韓国語会話選択a	1~4	1	日本語(上級) VA		交換留学生等	2	
韓国語会話選択b	1~4	1	日本語(上級) VB		交換留学生等	2	
韓国語選択(初級) a	1~4	1					
韓国語選択(初級) b	1~4	1					

《履修上の注意》

- ① 学部共通科目は、特別な履修手続きが必要である。登録方法については、【授業に関することⅣ】特別な履修登録手続きを必要とする授業科目】を参照すること。
- ② 「資格英語」は、TOEFL又はTOEICの成績優秀者に対して単位を授与する授業科目である。
- ③ 《英語到達目標》
  - ・「ビジネス英語」― 受講者のレベルや要請に応じて、初級～上級のレベルを目指す。
- ④ 中級以上の独語選択、仏語選択、中国語選択の履修に際しては、以下の目安を参考にすること。

授業科目（グレード）	履修の目安	備考
独語選択（中級）a・b 仏語選択（中級）a・b 中国語選択（中級）a・b	・「選択（初級）I a～II b」の計4単位を修得した者	a・bどちらかみの履修も可。
独語選択（上級）a・b 仏語選択（上級）a・b 中国語選択（上級）a・b	・上記「選択（中級）a・b」の計2単位を修得した者	a・bどちらかみの履修も可。

※上記の「履修の目安」を満たさない状態で履修を希望する場合、必ず第1回目の授業に出席し、担当教員に相談すること。

⑤ 《ディプロム・コース到達目標》

- ・中級（独語・仏語）：独検・仏検の4～3級の合格。
- ・上級（独語・仏語）：独検・仏検の（準）2級～準1級の合格。
- ・中級（スペイン語・韓国語）：西検・ハン検の3級の合格。

⑥ 「海外短期語学研修」、「海外短期研修」については以下のとおりである。

授 業 科 目	配当年次	単位	備 考
海外短期語学研修（英語・春季）	*	2	研修内容等については、シラバスを参照のこと。 また、履修登録の方法については、【授業に関することⅣ】特別な履修登録手続きを必要とする授業科目】を参照すること。
海外短期語学研修（英語・夏季）	1～4	2	
海外短期語学研修（独語・春季）	*	2	
海外短期語学研修（仏語・春季）	*	2	
海外短期語学研修（中国語・夏季）	1～4	2	
海外短期語学研修（英語・夏季） 【2021年度以降入学者のみ履修可】	1～4	1	
海外短期語学研修（英語・就業体験準備） 【2020年度以前入学者のみ履修可】	1～4	1	
海外短期研修（マレーシア・就業体験研修） 【2020年度以前入学者のみ履修可】	1～4	2	

- ・海外短期語学研修のうち、配当年次が\*印になっているものは、1～3年次いずれかの春季休業期間中に研修に参加し、その翌年度に単位が授与される科目である。  
研修参加申し込みをもって、該当する授業科目への履修登録とする。研修に参加する年度は単位数が0の仮置き科目、その翌年度に2単位の科目を教務部が履修登録する。履修登録された2単位は、研修の翌年度の履修科目登録上限単位数に含まれる。研修参加申し込み後は、研修自体がやむを得ず中止となった場合を除き、研修への実際の参加の可否にかかわらず、履修登録を取り消すことができないので注意すること。
  - ・一度単位が授与された授業科目も再度履修することができ、同一年度に複数の授業科目を履修することもできる。ただし、授与された単位のうち卒業要件単位に算入することができるのはあわせて2単位までである。
  - ・やむを得ない理由により研修が中止となる場合があることを考慮し、履修科目登録上限単位数や卒業・進級要件単位数に注意して学修計画を立てておくこと。
  - ・2021年度以降入学者対象の「海外短期語学研修（英語・夏季）」（マレーシア）と2020年度以前入学者対象の「海外短期語学研修（英語・就業体験準備）」の研修内容は同一である。
  - ・【2020年度以前入学者のみ】  
「海外短期語学研修（英語・就業体験準備）【1単位】」と「海外短期研修（マレーシア・就業体験研修）【2単位】」はセットで履修することになっている。
  - ・「海外短期語学研修」及び「海外短期研修」の成績評価は、他の授業科目とは異なり、合格であれば「合」（英文の成績証明書は「P」）と表示される。
- ⑦ 「日本語（初級）」、「日本語（中級）」、「日本語（上級）」は、交換留学協定校からの受入交換留学生である者又は、外国人留学生のうち所定の要件に該当する者のみ履修できる。

履修規定

心理社会学科

- ⑧ 2018年度から、通年（2単位）で開講していた全学共通外国語科目は、前期a（1単位）、後期b（1単位）に分割して開講する。2017年度までに通年科目の単位を修得している場合、同一名称のa又はbの授業科目は履修できない。  
（例：2017年度までに「ビジネス英語」の単位を修得している場合、「ビジネス英語a」及び「ビジネス英語b」を履修できない。）
- ⑨ 2018年度に以下のように授業科目が変更された。なお、旧授業科目の単位を修得している場合、新授業科目を履修することができない。

新 授 業 科 目	旧 授 業 科 目
独語選択（初級）I a	独語選択（初級）A
独語選択（初級）I b	
独語選択（初級）II a	独語選択（初級）B
独語選択（初級）II b	
仏語選択（初級）I a	仏語選択（初級）A
仏語選択（初級）I b	
仏語選択（初級）II a	仏語選択（初級）B
仏語選択（初級）II b	
中国語選択（初級）I a	中国語選択（初級）A
中国語選択（初級）I b	
中国語選択（初級）II a	中国語選択（初級）B
中国語選択（初級）II b	

- ⑩ 2020年度に「韓国語会話選択a・b」、「ディプロム・コース中級（スペイン語）a・b」、「ディプロム・コース中級（韓国語）a・b」が新設された。
- ⑪ 2019年度をもって、「スペイン語選択（中級・ディプロム）a・b」および「韓国語選択（中級・ディプロム）a・b」は廃講となった。修得済みの単位は学部共通科目の単位として認められる。
- ⑫ 2018年度より、ディプロム・コースのうち（独語）と（仏語）の全8科目については、科目名称の末尾が、A→a、B→bと変更となった。旧科目の単位を修得している場合、新科目の単位を修得済みであるとみなされる。

## F 一般共通科目

一般共通科目の卒業要件単位数は4単位であり、授業科目は第13表～第16表のとおりである。

なお、一般共通科目の卒業要件単位4単位は、一般共通科目の中に配置されている授業科目のほか、総合教養科目に属する授業科目の中から、卒業要件単位数を超えて修得した単位を充当することができる。

一般共通科目は全て、全学共通教育カリキュラムで用意された科目である。各分野の設置に当たっての理念等は、【全学共通教育科目】の項に記載されている。

本年度休講科目は「社会イノベーション学部 2022年度休講科目一覧」を参照すること。

### 1 スポーツ・ウエルネス教育科目

スポーツ・ウエルネス教育科目の授業科目は、第13表のとおりである。

第13表 スポーツ・ウエルネス教育科目

カテゴリー	系列	授業科目・種目、コース	配当年次	単位	
スポーツ・ウエルネス講義・演習科目(半期)	スポーツ文化	スポーツ・スタディーズⅠ スポーツ・スタディーズⅡ スポーツ・スタディーズⅢ スポーツ・スタディーズⅣ	1～4	2	
	ウエルネス文化	ウエルネス・スタディーズⅠ ウエルネス・スタディーズⅡ ウエルネス・スタディーズⅢ ウエルネス・スタディーズⅣ			
	身体表現文化	身体表現・スタディーズⅠ 身体表現・スタディーズⅡ 身体表現・スタディーズⅢ 身体表現・スタディーズⅣ			
スポーツ・ウエルネス実技科目(半期または集中)	スポーツ文化	オルタナティブスポーツ ゴルフ サッカー&フットサル ソフトボール 卓球 テニス トレーニング バスケットボール バドミントン バレーボール フットサル	定時コース	1～4	1
		サイクル・スポーツ スキー	集中コース		
	ウエルネス文化	アクアエクササイズ エアロビクス&コンディショニング エアロビクス&ピラティス コンディショニング 水泳 フィットネス ヨガ&ピラティス レクリエーション・スポーツ	定時コース		
		身体表現文化	剣道(古武道) ダンスパフォーマンス		

#### 《履修上の注意》

- ① スポーツ・ウエルネス教育科目は、特別な履修登録手続きが必要となるので【授業に関すること】Ⅳ特別な履修登録手続きを必要とする授業科目】を参照すること。
- ② スポーツ・ウエルネス講義・演習科目の第1回目の授業は、第1体育館1階講義室又は指定された教室でガイダンスを行う。
- ③ スポーツ・ウエルネス実技科目の第1回目の授業は、前期・後期ともに、トレーニングセンターで行う科目はトレーニングセンターで、それ以外は第1体育館でガイダンスを行う。  
なお、ガイダンスに出席するにあたり着替えは不要である。
- ④ スポーツ・ウエルネス実技科目は反復履修・重複履修することができる。
- ⑤ 健康上の問題及び心身に障がいのある履修希望者には、個別に対応する。希望者は履修登録期間内に教務部又は科目担当専任教員まで申し出ること。

## 2 IT科目

IT科目の授業科目は、第14表のとおりである。登録方法などについては、【授業に関することⅣ】特別な履修登録手続きを必要とする授業科目】を参照すること。

第14表 IT科目

授 業 科 目	配当年次	単 位	授 業 科 目	配当年次	単 位
コンピュータ・リテラシーA1	1～4	2	コンピュータ・リテラシーD	1～4	2
コンピュータ・リテラシーA2	1～4	2	コンピュータ・リテラシーE	1～4	2
コンピュータ・リテラシーB	1～4	2	図書館活用法	1～4	2
コンピュータ・リテラシーC	1～4	2			

## 《履修上の注意》

- ① 「コンピュータ・リテラシーA1」と「コンピュータ・リテラシーA2」は、セットで履修することになっている。対となるクラスは、同一曜日・時限に開講している。
- ② セットで履修した「コンピュータ・リテラシーA1」と「コンピュータ・リテラシーA2」のうち、どちらか1科目のみ単位を修得し、もう一方の科目が不合格となった場合、不合格となった科目のみを再履修することも、両方を再履修することもできない。

## 3 WRD

WRDの授業科目「WRD」は第15表のとおりである。登録方法などについては、【授業に関することⅣ】特別な履修登録手続きを必要とする授業科目】を参照すること。

第15表 WRD

授 業 科 目	配当年次	単 位
WRD	1～4	4

4 キャリア  
デザイン科目

キャリアデザイン科目の授業科目は、第16表のとおりである。登録方法などについては、【授業に関することⅣ】特別な履修登録手続きを必要とする授業科目】を参照すること。

第16表 キャリアデザイン科目

授 業 科 目	配当年次	単 位
☆キャリア形成Ⅰ	1～4	2
☆キャリア形成Ⅱ	1～4	2
☆キャリア形成Ⅲ	1～4	2
☆キャリア形成Ⅳ	1～4	2
★プロジェクト演習	1・2	2

注) 各授業科目についている山カッコ内は授業の副題を表し、授業科目名称には含まれない。

## 《履修上の注意》

- ① ☆の付いた「キャリア形成Ⅰ～Ⅳ」からは2単位まで卒業要件単位に算入することができる。
- ② ★の付いた「プロジェクト演習」は副題が異なる授業科目を複数開講している。詳細は本年度のシラバスを確認すること。ただし、「プロジェクト演習」のうち、修得できる単位数および卒業要件単位に算入できる単位数は、1科目2単位までとする。また3年次以降は履修することができない。

# Ⅲ

# 心理社会学科授業科目一覧

第17表 心理社会学科授業科目一覧

分野・区分		配当年次	1 年			
外国語科目	必修		English I : Skills for Learning [a] ① English I : Skills for Learning [b] ① English I : Social Interaction [a] ① English I : Social Interaction [b] ① English I : Academic Interaction [a] ① English I : Academic Interaction [b] ① English I : Reading and Writing [a] ① English I : Reading and Writing [b] ①			
基礎科目	必修		イノベーション概論②	科学技術と社会②	情報リテラシー②	データ分析入門②
	選択 A		心理学④* 社会学④*	社会心理学④* 統計学④*	経済学④ 国際関係学④	政策学② 経営学④ 行政学②
	選択 B					
専門科目	必修					
	選択 A	心理系科目				
		社会系科目				
		学科共通科目				
	選択 B	政策系科目				
		戦略系科目				
学科共通科目						

注1) ○で囲まれた数字は単位数を表す。

注2) 本年度休講科目は「社会イノベーション学部 2022年度休講科目一覧」を参照すること。

注3) 基礎科目選択Aの卒業要件単位数12単位のうち、\*印のついた授業科目から8単位以上を選択すること。

履修規定

心理社会学科

2年	3年	4年	卒業要件 単位数
English II: Public Speaking① English II: Presentation and Discussion① English II: Academic Reading and Writing [a] ① English II: Academic Reading and Writing [b] ① English II: Business Reading and Writing [a] ① English II: Business Reading and Writing [b] ①			14
			8
			12
社会調査法④ 心理実験法④	メッセージ分析法④ 市場調査法④	心理研究法④	4
			4
基礎ゼミナール (心理) ② 基礎ゼミナール (社会) ②	ゼミナール I ④	ゼミナール II ④ 卒業研究④	16
イノベーション心理論④ 認知心理学 I ② 認知心理学 II ②	パーソナリティ心理学② メディア心理学④ 異文化間心理学②	組織心理学② 意思決定論② 経済心理学② ワークプレイス論②	32
		対人コミュニケーション論④ 認知言語学④ ヒューマンインターフェイス論④ 産業カウンセリング④	
イノベーション社会論④ 社会システム論④ 日本社会文化論 I ② 日本社会文化論 II ② アジア社会文化論④	アメリカ社会文化論 I ② アメリカ社会文化論 II ② 現代国際社会学④ 異文化間コミュニケーション論 I ② 異文化間コミュニケーション論 II ②	環境社会論 I ② 環境社会論 II ② 現代社会福祉論② ケアの社会学②	
		宗教社会論 I ② 宗教社会論 II ② 社会人類学②	
OCA②	社会イノベーション特殊演習②	NGO・NPO論② 社会調査専門演習④	
	心理社会学特殊講義②		
イノベーション政策論④ 経済政策② 公共経済学② 科学技術論②	金融システム論② 金融イノベーション論 I ② 日本経済論② 日本金融論②	国際協力・開発イノベーション論④ 開発政策論② 開発支援論② 国際法④	地域政策論④
		イノベーション経済論④ 公共政策論② 知的財産法② リテールファイナンス論②	金融イノベーション論 II ② 比較イノベーション論② グローバルガバナンス論② 国際機構論④
イノベーション戦略論④ 戦略論② 組織論② マーケティング論②	現代企業論④ 企業家史④ 組織イノベーション論④ グローバル・イノベーション・マネジメント論④	消費行動論②	不動産開発論② 都市開発論②
		人的資源論④ トップマネジメント論② ロジスティクス論② 企業評価論④	新商品開発論② ベンチャービジネス論② 研究開発管理論②
		政策イノベーション特殊講義 I ②	政策イノベーション特殊講義 II ②

第17表 心理社会学科授業科目一覧（つづき）

配当年次	1 年		
分野・区分			
総合教養科目	短期学外演習②	教養演習④	
	総合講座Ⅰ② 総合講座Ⅱ② 総合講座Ⅲ② 総合講座Ⅳ② 総合講座Ⅴ② 総合講座Ⅵ② 特別講座Ⅰ② 特別講座Ⅱ② 成城学園を知る② 成城学Ⅰ② 成城学Ⅱ② 成城学Ⅲ② 成城学Ⅳ② 成城学Ⅴ② 社会学入門a② 社会学入門b② メディア論入門a② メディア論入門b② 現代社会論Ⅰa② 現代社会論Ⅰb② 現代社会論Ⅱa② 現代社会論Ⅱb② 現代社会論Ⅲa② 現代社会論Ⅲb② 現代社会論Ⅳa② 現代社会論Ⅳb② 現代社会論Ⅴa② 現代社会論Ⅴb② 現代社会論Ⅵa② 現代社会論Ⅵb② 現代社会論Ⅶa② 現代社会論Ⅶb②	現代社会論Ⅷa② 現代社会論Ⅷb② 現代社会論演習a② 現代社会論演習b② 国際関係論入門a② 国際関係論入門b② 経済学入門a② 経済学入門b② 政治学入門a② 政治学入門b② 情報社会論入門a② 情報社会論入門b② 法学（含む日本国憲法）a② 法学（含む日本国憲法）b② 社会構造論Ⅰa② 社会構造論Ⅰb② 社会構造論Ⅱa② 社会構造論Ⅱb② 社会構造論Ⅲa② 社会構造論Ⅲb② 社会構造論Ⅳa② 社会構造論Ⅳb② 社会構造論Ⅴa② 社会構造論Ⅴb② 社会構造論Ⅵa② 社会構造論Ⅵb② 社会構造論演習a② 社会構造論演習b② 哲学入門a② 哲学入門b② 宗教学入門a② 宗教学入門b②	倫理学入門a② 倫理学入門b② 西洋思想入門a② 西洋思想入門b② 東洋思想入門a② 東洋思想入門b② 日本思想入門a② 日本思想入門b② 思想・人間論Ⅰa② 思想・人間論Ⅰb② 思想・人間論Ⅱa② 思想・人間論Ⅱb② 思想・人間論Ⅲa② 思想・人間論Ⅲb② 思想・人間論演習a② 思想・人間論演習b② 文学入門a② 文学入門b② 言語学入門a② 言語学入門b② 音楽入門a② 音楽入門b② 表象文化論入門a② 表象文化論入門b② 表現文化論Ⅰa② 表現文化論Ⅰb② 表現文化論Ⅱa② 表現文化論Ⅱb② 表現文化論Ⅲa② 表現文化論Ⅲb② 表現文化論Ⅳa② 表現文化論Ⅳb②
	【国際交流科目・データサイエンス科目は、Ⅱ科目区分別履修方法 ㊦ 総合教養科目を参照】		
学部共通科目	ビジネス英語a① ビジネス英語b① 独会話選択a① 独会話選択b① 独語選択（初級）Ⅰa① 独語選択（初級）Ⅰb① 独語選択（初級）Ⅱa① 独語選択（初級）Ⅱb① 独語選択（中級）a① 独語選択（中級）b① 独語選択（上級）a① 独語選択（上級）b① 仏会話選択a① 仏会話選択b① 仏語選択（初級）Ⅰa① 仏語選択（初級）Ⅰb① 仏語選択（初級）Ⅱa① 仏語選択（初級）Ⅱb① 仏語選択（中級）a① 仏語選択（中級）b① 仏語選択（上級）a① 仏語選択（上級）b① スペイン語選択（初級）a① スペイン語選択（初級）b① 中国語選択（初級）Ⅰa① 中国語選択（初級）Ⅰb① 中国語選択（初級）Ⅱa① 中国語選択（初級）Ⅱb① 中国語選択（中級）a①	中国語選択（中級）b① 中国語選択（上級）a① 中国語選択（上級）b① 韓国語会話選択a① 韓国語会話選択b① 韓国語選択（初級）a① 韓国語選択（初級）b① ディプロム・コース中級（独語）a① ディプロム・コース中級（独語）b① ディプロム・コース上級（独語）a① ディプロム・コース上級（独語）b① ディプロム・コース中級（仏語）a① ディプロム・コース中級（仏語）b① ディプロム・コース上級（仏語）a① ディプロム・コース上級（仏語）b① ディプロム・コース中級（スペイン語）a① ディプロム・コース中級（スペイン語）b① ディプロム・コース中級（韓国語）a① ディプロム・コース中級（韓国語）b① 海外短期語学研修（英語・春季）② 海外短期語学研修（英語・夏季）② 海外短期語学研修（独語・春季）② 海外短期語学研修（仏語・春季）② 海外短期語学研修（中国語・夏季）② 海外短期語学研修（英語・夏季）② 海外短期語学研修（英語・夏季）① 海外短期語学研修（英語・就業体験）① 海外短期語学研修（英語・就業体験）①	海外短期研修（マレーシア・就業体験研修） 【2020年度以前入学者のみ履修可】② 日本語（初級）ⅠA② 日本語（初級）ⅠB② 日本語（初級）ⅡA② 日本語（初級）ⅡB② 日本語（初級）ⅢA② 日本語（初級）ⅢB② 日本語（初級）ⅣA② 日本語（初級）ⅣB② 日本語（中級）ⅠA② 日本語（中級）ⅠB② 日本語（中級）ⅡA② 日本語（中級）ⅡB② 日本語（中級）ⅢA② 日本語（中級）ⅢB② 日本語（中級）ⅣA② 日本語（中級）ⅣB② 日本語（上級）ⅠA① 日本語（上級）ⅠB① 日本語（上級）ⅡA① 日本語（上級）ⅡB① 日本語（上級）ⅢA② 日本語（上級）ⅢB② 日本語（上級）ⅣA② 日本語（上級）ⅣB② 日本語（上級）ⅤA② 日本語（上級）ⅤB②
	【外国語科目の一部は、Ⅳ卒業要件単位に算入されない授業科目を参照】		
一般共通科目	【スポーツ・ウエルネス教育科目は、Ⅱ科目区分別履修方法 ㊦ 一般共通科目 1 スポーツ・ウエルネス教育科目 を参照】 コンピュータ・リテラシーA1②      コンピュータ・リテラシーC②      図書館活用法② コンピュータ・リテラシーA2②      コンピュータ・リテラシーD②      WRD④ コンピュータ・リテラシーB②      コンピュータ・リテラシーE② 【キャリアデザイン科目は、Ⅱ科目区分別履修方法 ㊦ 一般共通科目 4 キャリアデザイン科目およびⅣ卒業要件単 【国際交流科目は、Ⅳ卒業要件単位に算入されない授業科目を参照】		

注1) ○で囲まれた数字は単位数を表す。

注2) 本年度休講科目は「社会イノベーション学部 2022年度休講科目一覧」を参照すること。

2 年	3 年		4 年	卒業要件 単位数
	応用英語研究④	言語コミュニケーション演習④		12
表現文化論 Va② 表現文化論 Vb② 表現文化論 VIa② 表現文化論 VIb② 表現文化論演習a② 表現文化論演習b② 歴史学入門a② 歴史学入門b② 日本近現代史a② 日本近現代史b② ヨーロッパ近現代史a② ヨーロッパ近現代史b② アジア近現代史a② アジア近現代史b② アメリカ近現代史a② アメリカ近現代史b② 歴史文化論 I a② 歴史文化論 I b② 歴史文化論 II a② 歴史文化論 II b② 歴史文化論 III a② 歴史文化論 III b② 歴史文化論 IV a② 歴史文化論 IV b② 歴史文化論 Va② 歴史文化論 Vb② 歴史文化論演習a② 歴史文化論演習b② 文化人類学入門a② 文化人類学入門b② 空間システム論入門a② 空間システム論入門b② 地域空間論 I a②	地域空間論 I b② 地域空間論 II a② 地域空間論 II b② 地域空間論 III a② 地域空間論 III b② 地域空間論 IV a② 地域空間論 IV b② 地域空間論 Va② 地域空間論 Vb② 地域空間論 VI a② 地域空間論 VI b② 地域空間論 VII a② 地域空間論 VII b② 地域空間論 VIII a② 地域空間論 VIII b② 地域空間論演習a② 地域空間論演習b② 数理の世界a② 数理の世界b② 物理の世界a② 物理の世界b② 化学の世界a② 化学の世界b② 生命科学の世界a② 生命科学の世界b② 科学史a② 科学史b② 自然科学 I a② 自然科学 I b② 自然科学 II a② 自然科学 II b② 自然科学 III a② 自然科学 III b②	自然科学IVa② 自然科学IVb② 自然科学Va② 自然科学Vb② 数理・自然科学演習a② 数理・自然科学演習b② ことごとと身体a② ことごとと身体b② 身体と運動・スポーツa② 身体と運動・スポーツb② 心身論 I a② 心身論 I b② 心身論 II a② 心身論 II b② 心身論 III a② 心身論 III b② 心身論 IV a② 心身論 IV b② 心身論 Va② 心身論 Vb② 心身論演習a② 心身論演習b②		
	資格英語 ② English for International Communication② English for Academic Settings② English for Practical Proficiency② Innovation Studies in English [a] ① Innovation Studies in English [b] ① Advanced Oral Interaction in English② Critical Reading in English [a] ① Critical Reading in English [b] ① Research Writing Skills in English [a] ① Research Writing Skills in English [b] ①		Thesis Writing Skills in English [a] ① Thesis Writing Skills in English [b] ①	6
位に算入されない授業科目を参照】				4
合 計				126

# IV

# 科目番号

## 概要

科目番号は、各授業科目に対して、体系的に編成された教育課程（カリキュラム）におけるその位置付け（学修の段階、順序等も含む。）を表すために、各桁に以下に示す分類に基づく数字又は英字を当てて用いることにより、付されている。この科目番号により、当該授業科目がどのような配当年次（又はレベル）の、どのような領域のものであるかがわかるようになっており、学習計画を検討する一助としても活用することができる。なお、科目番号は、シラバスや学事システムにおいて表示される。

[例] 社会イノベーション学部 心理社会学科における「イノベーション心理論」

**NPS** - **CA5** - **2** - **5010**

① 学科      ② 分野・区分・領域      ③ 配当年次      ④ 対象となる領域      ⑤ 識別番号

この科目番号であることにより、この授業科目は、心理社会学科の教育課程において「専門科目・選択A・心理系科目」という科目区分の中に位置づけられており、配当年次は「2年次以上」、対象となる領域は「心理領域」であることを示している。

### ① 教育課程

NPS | 心理社会学科

### ② 分野・区分・領域

分野		区分		領域	
A	外国語科目	M	必修	7	〈すべての科目に共通する。〉
B	基礎科目	M	必修	0	〈すべての科目に共通する。〉
		A	選択A		
		B	選択B		
		C	選択C		
C	専門科目	M	必修	0~6	〈「対象となる領域」の区分に準じる。〉
		A	選択A	5	心理系科目
				6	社会系科目
		B	選択B	0.2	学科共通科目 〈「対象となる領域」の区分に準じる。〉
				3	政策系科目
				4	戦略系科目
0.1	学科共通科目 〈「対象となる領域」の区分に準じる。〉				
D	総合教養科目	0	学部開設科目	0.7	〈「対象となる領域」の区分に準じる。〉
		2	教養科目群	1	総合科目
				2	成城学
				3	系列科目
		5	国際交流科目群	0	〈すべての科目に共通する。〉
6	データサイエンス科目群	0	〈すべての科目に共通する。〉		
E	学部共通科目	0	学部開設科目	7	〈「対象となる領域」の区分に準じる。〉
		2	外国語科目	0	卒業要件内科目 〈すべての科目に共通する。〉
				9	卒業要件外科目
		3	外国語科目（ディプロム）	0	〈すべての科目に共通する。〉
5	国際交流科目群	0	〈すべての科目に共通する。〉		
F	一般共通科目	1	スポーツ・ウエルネス科目	1	講義・演習科目
				2	実技科目
		2	IT科目	0	〈すべての科目に共通する。〉
		3	WRD	0	〈すべての科目に共通する。〉
		4	キャリアデザイン科目	0	卒業要件内科目 〈すべての科目に共通する。〉
				9	卒業要件外科目
		5	国際交流科目群	0	卒業要件内科目 〈すべての科目に共通する。〉
9	卒業要件外科目				

③ 配当年次

1	1年次から履修できる科目
2	2年次から履修できる科目
3	3年次から履修できる科目
4	4年次に履修できる科目

④ 対象となる領域

0	全領域に関連
1	政策・戦略の両領域に関連
2	心理・社会の両領域に関連
3	政策領域
4	戦略領域
5	心理領域
6	社会領域
7	英語
9	その他
A~F	(全学共通教育科目) *注1

\*注1 A~Fの分類の詳細は、次表を参照すること。

⑤ 識別番号

識別番号	
下3桁	各科目に、原則として異なる番号が付与される(一部の科目を除く)。 なお、共通する科目名で [a]・[b]、I・IIとなっている場合には、最終桁が0と5の組合せとなっている。 ただし、全学共通教育科目は、この通りではない。*注2

\*注2 全学共通教育科目についての詳細は、次表を参照すること。

全学共通教育科目の番号体系

[[例]の対象となる領域に対応]		[[例]の識別番号に対応]				下4桁		
科目群	分野	系列	基幹/展開					
A リテラシー科目群	1 WRD	0 -	0	-	-	A100		
	2 外国語科目					A200		
	3 外国語科目(ディプロム・コース)					A300		
	4 IT科目					A400		
B 教養科目群	1 総合科目	0 -	0	-	-	B100		
	2 成城学					B200		
	3 系列科目	1 現代社会論系列	1	基幹	B311			
					2	展開	B312	
			1	基幹			B321	
					2	展開	B322	
			1	基幹			B331	
					2	展開	B332	
			1	基幹			B341	
					2	展開	B342	
			1	基幹			B351	
					2	展開	B352	
1	基幹	B361						
		2	展開	B362				
1	基幹			B371				
		2	展開	B372				
1	基幹			B381				
		2	展開	B382				
C キャリアデザイン科目群	0 -			0 -	0 -	0 -	C000	
D 国際交流科目群	1 留学対策科目	0 -	0	-	-	D100		
	2 英語等による地域研究科目					D200		
	3 英語等による日本事情関係科目					D300		
	4 英語等による特定のテーマを扱った科目					D400		
	5 海外短期語学研修					D500		
	6 受け入れ留学生科目					D600		
	7 留学準備演習					D700		
E データサイエンス科目群	1 リテラシー科目	0 -	0	-	-	E100		
	2 応用基礎科目					E200		
	3 アドバンスド科目					E300		
	4 選択科目					E400		
F スポーツ・ウエルネス教育科目	1 スポーツ・ウエルネス講義・演習科目	1	スポーツ文化	0	-	F110		
						2	ウエルネス文化	F120
								3
	2	スポーツ・ウエルネス実技科目	0 -	0 -	F200			

# V

## 卒業要件単位に算入されない授業科目

以下の授業科目は、履修することが可能であるが、修得しても卒業要件単位には含まれないので注意すること。  
 なお以下は全て、全学共通教育カリキュラムで用意された科目である。各分野の設置に当たっての理念等は、【[全学共通教育科目](#)】の項に記載されている。

分野・区分	授業科目	配当年次	単位	授業科目	配当年次	単位	
学部共通科目 外国語科目	英語リスニング&スピーキング (初級) a	1~4	1	英語リーディング&ライティング (中級) a	1~4	1	
	英語リスニング&スピーキング (初級) b	1~4	1	英語リーディング&ライティング (中級) b	1~4	1	
	英語リスニング&スピーキング (中級) a	1~4	1	英語リーディング&ライティング (上級) a	1~4	1	
	英語リスニング&スピーキング (中級) b	1~4	1	英語リーディング&ライティング (上級) b	1~4	1	
	英語リスニング&スピーキング (上級) a	1~4	1	英会話選択a	1~4	1	
	英語リスニング&スピーキング (上級) b	1~4	1	英会話選択b	1~4	1	
	英語リーディング&ライティング (初級) a	1~4	1	英文多読a	1~4	1	
	英語リーディング&ライティング (初級) b	1~4	1	英文多読b	1~4	1	
一般共通科目	キャリアデザイン科目	業界企業分析	2~4	2	時事英語 I	1~4	2
		職業選択	2~4	2	時事英語 II	1~4	2
		キャリア・プランニング・プログラム I	3~4	2	時事問題研究	2~4	2
		キャリア・プランニング・プログラム II	3~4	2			
	国際交流科目 【留学対策科目】	Academic Skills I A	1~4	1	Academic Skills IV A	1~4	1
		Academic Skills I B	1~4	1	Academic Skills IV B	1~4	1
		Academic Skills II A	1~4	1	Academic Skills V A	2~4	1
		Academic Skills II B	1~4	1	Academic Skills V B	2~4	1
		Academic Skills III A	1~4	1	Academic Skills VI A	2~4	1
		Academic Skills III B	1~4	1	Academic Skills VI B	2~4	1
	国際交流科目 【英語等による地域研究科目】	European Studies A	1~4	2	Oceanian Studies A	1~4	2
		European Studies B	1~4	2	Oceanian Studies B	1~4	2
		North American Studies A	1~4	2	Asian Studies A	1~4	2
		North American Studies B	1~4	2	Asian Studies B	1~4	2
	国際交流科目 【留学準備演習】	留学準備演習	1~4	2			

本年度休講科目は「社会イノベーション学部 2022年度休講科目一覧」を参照すること。

### 《履修上の注意》

#### ①《英語到達目標》

- ・「英語リスニング&スピーキング」、「英語リーディング&ライティング」  
 初級：TOEIC 600-700点、英検2級程度  
 中級：TOEIC 700-800点、英検準1級程度  
 上級：TOEIC 800-990点、英検1級程度
- ・「英会話選択」— 受講者のレベルや要請に応じて、中級~上級のレベルを目指す。
- ・「英文多読」— 受講者のレベルや要請に応じて、中級~上級のレベルを目指す。

② 外国語科目、キャリアデザイン科目のうち「スタート・プログラム I~III」及び「時事英語 I・II」、国際交流科目は、特別な履修登録手続きが必要である。登録方法については、【[授業に関すること](#)】[IV](#)特別な履修登録手続きを必要とする授業科目】を参照すること。

③ 2018年度から、通年(2単位)で開講していた全学共通教育科目の外国語科目は、前期a(1単位)、後期b(1単位)に分割して開講する。2017年度までに通年科目の単位を修得している場合、同一名称のa又はbの科目は履修できない。

(例：2017年度までに「英語リスニング&スピーキング(初級)」の単位を修得している場合、「英語リスニング&スピーキング(初級) a」及び「英語リスニング&スピーキング(初級) b」を履修できない。)

④ 2019年度をもって、「Academic Communication a・b」は廃講となった。修得済みの単位は学部共通科目の単位となる。